

2-2 宿泊客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内に宿泊する人の来名目的や遊覧状況等について把握するためアンケート調査を実施した。

②調査日時等

●秋期調査：平成21年 11月1日～11月30日

●春期調査：平成22年 3月1日～3月31日

③調査方法

この調査は、予め調査票を宿泊施設の客室等に設置し、宿泊者が記入した上でフロントに提出するという方法で行った。

④調査宿泊施設

施設の区分（登録ホテル、ホテル、旅館）や施設の規模、立地場所を勘案して、以下の20施設に協力していただきました。

・登録ホテル 14施設

ウェスティンナゴヤキャッスル、名鉄グランドホテル、ホテルアソシア名古屋ターミナル、ホテルキャッスルプラザ、ロイヤルパークイン名古屋、名鉄ニューグランドホテル、名古屋観光ホテル、名古屋国際ホテル、名古屋東急ホテル、サイプレスガーデンホテル、名古屋マリオットアソシアホテル、東京第一ホテル錦、全日空ホテルズホテルグランコート名古屋、ホテルサンルートプラザ名古屋

・ホテル 2施設

名古屋ガーデンパレス、KKRホテル名古屋

・登録旅館 1施設

つちやホテル

・旅館 3施設

旅館浅野屋、ホテル大名古屋温泉、松竹旅館

⑤調査件数

●秋 期：454 サンプル

●春 期：434 サンプル

●合 計：888 サンプル

(2) 調査結果

①居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

宿泊客の居住地構成としては、全体では「名古屋市」が6.4%、「愛知県（名古屋市を除く）」が6.8%、「岐阜県、三重県、静岡県」が20.8%であり、合わせて「東海」地域が34.0%となっている。

「東海」地域外では、「関東」地域が27.6%と多く、「近畿」地域は11.3%、「北陸」地域は4.2%、「甲信越」地域は3.9%、その他の地域が19.0%である。また、その他のうち「九州」が6.2%である。

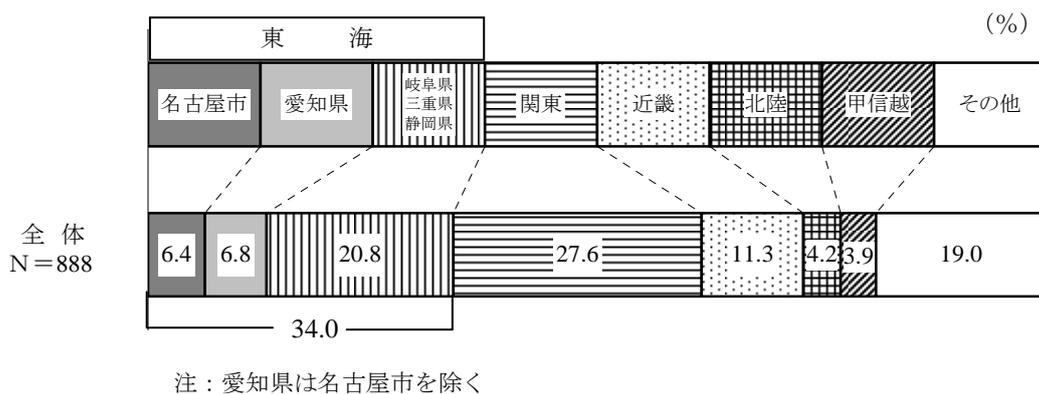


図 2-2-1 宿泊客の居住地構成

b. 性・年齢構成

年齢は、全体では20歳代から50歳代まで分散しており、「20～29歳」は22.9%、「30～39歳」は21.6%、「50～59歳」は19.6%、「40～49歳」は19.0%となっている。「60～69歳」は10.3%、「70歳以上」は4.0%、「10～19歳」は2.6%である。

性別は、男性が50.2%、女性が49.8%と、男女半々である。

性別に宿泊客の年齢をみると、男性では40・50歳代を中心としている。一方、女性では「20～29歳」(31.7%)が多く、次いで「30～39歳」(23.1%)である。

表 2-2-1 宿泊客の性・年齢構成

(単位：%)

	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
全体	2.6	22.9	21.6	19.0	19.6	10.3	4.0	100.0
男性	2.2	14.0	20.6	24.3	24.0	11.0	3.9	50.2
女性	2.5	31.7	23.1	14.9	15.9	8.2	3.7	49.8

注：男性、女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

宿泊客の旅行目的としては、「観光施設の見学」(18.7%)をはじめ「観劇・コンサート」(8.5%)、「ショッピング」(6.4%)、「飲食」(5.9%)、「イベント」(5.3%)などの「観光・娯楽」の割合が合わせて48.3%と半数近くを占め、「商用・公用」が18.2%、「帰省・冠婚葬祭」が9.8%、「大会・会議に参加」が8.8%となっている。

時系列にみると、「観光・娯楽」の割合は5割前後、「商用・公用」は2割前後、「帰省・冠婚葬祭」は1割前後、「大会・会議に参加」は1割弱で推移している。

性別にみると、男性では「商用・公用」の割合が28.9%と多い。女性では「観光施設の見学」(21.7%)、「観劇・コンサート」(11.8%)など観光・娯楽の割合が男性に比べ高い。

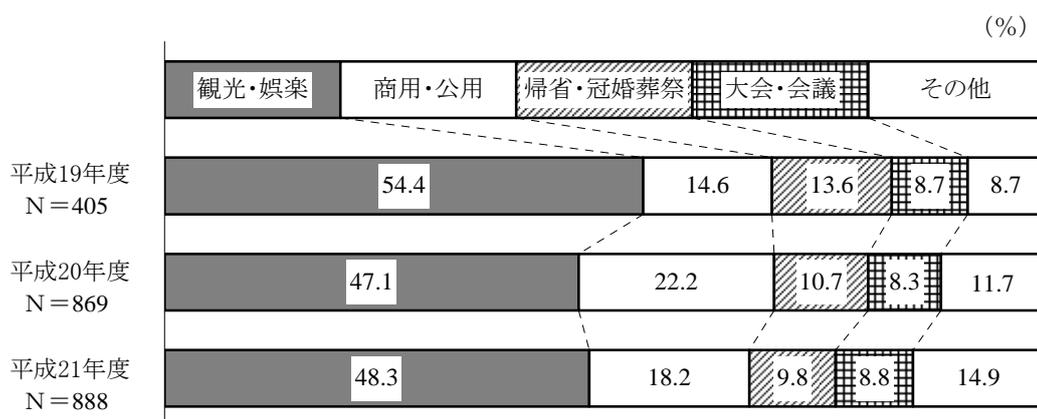


図 2-2-2 宿泊客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-2-2 宿泊客の旅行目的（性別）

(単位：%)

旅行目的	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
性別											
男性	15.6	4.6	5.4	4.9	6.4	3.4	28.9	9.8	7.6	13.4	100.0
女性	21.7	7.9	11.8	4.9	5.4	3.4	7.6	9.6	10.4	17.3	100.0
全体	18.7	6.4	8.5	5.3	5.9	3.5	18.2	9.8	8.8	14.9	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」を目的として訪れた宿泊客（427人）の名古屋を選んだきっかけとしては、「以前に来て良かったから」（21.0%）と「ホームページの情報」（20.0%）が多く、以下「友人・知人の推薦」（17.6%）、「雑誌・新聞をみて」（15.2%）、「テレビ・ラジオ番組の情報」（8.2%）となっている。

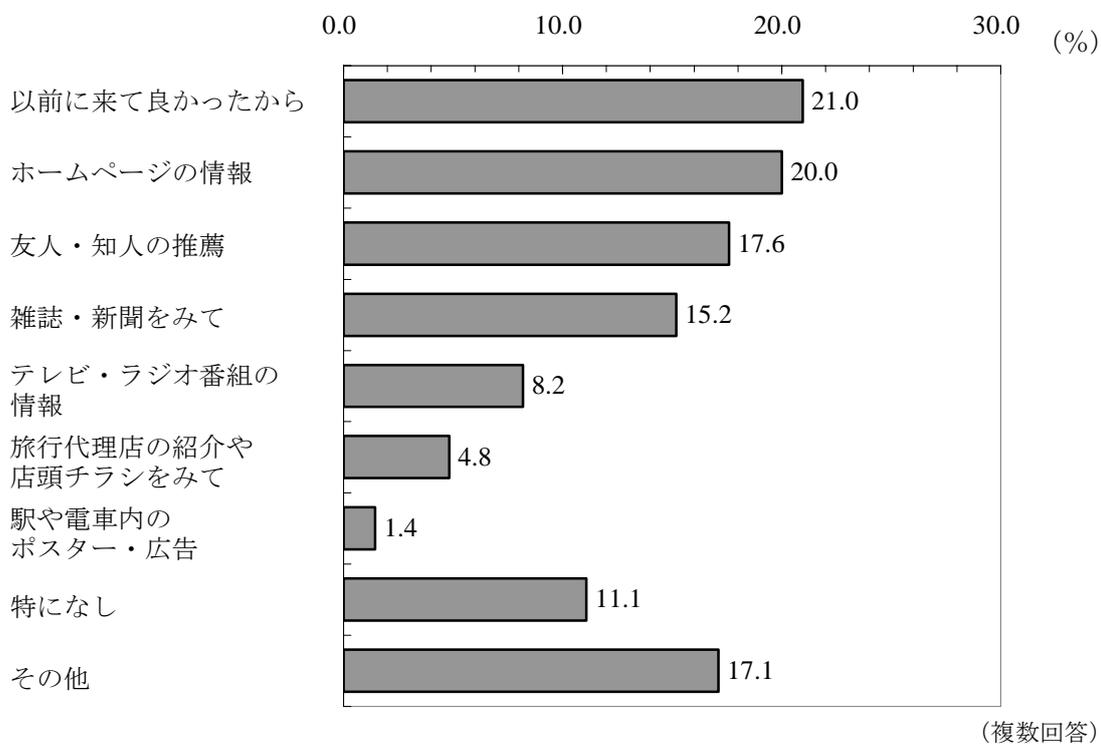


図 2-2-3 宿泊客の「観光・娯楽」で訪れたきっかけ

c. 訪問する主な観光施設

観光施設等を訪問するとした回答者は、888 人中 669 人 (75.3%) であり、全体では「名古屋城」が 30.4%と最も多く、次いで「熱田神宮」(13.3%)、「ミッドランドスクエアなどの高層建築物」(12.8%)、「名古屋港水族館」(10.8%) が 1 割台、「東山動植物園」(7.7%)、「徳川美術館」(7.2%)、「テレビ塔」(7.1%)、「徳川園」(6.1%)、「ノリタケの森」(5.5%) と続いている。

居住地別にみると、観光施設等を訪問する割合は「東海」より「東海以外」で 6 ポイント高くなっているが、平均訪問施設数はほぼ同じである。訪問施設としては、「東海」からの宿泊客では「ミッドランドスクエアなどの高層建築物」(19.7%) や「名古屋港水族館」(14.3%) を訪れる割合が相対的に高い。一方、「東海以外」からの宿泊客では「名古屋城」(35.0%) を訪れる割合が特に高く、「熱田神宮」(14.7%)、「徳川美術館」(8.3%)、「徳川園」(7.3%)、「ノリタケの森」(6.4%) などを訪れる割合が相対的に高い。

なお、宿泊客 1 人あたりの平均訪問施設数は 1.44 施設である。

表 2-2-3 宿泊客の訪問先

(単位：%)

訪問施設	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋ポストン美術館
東海	21.4	1.0	3.7	5.1	3.7	10.5	2.4	7.1	2.4	7.5	1.4	3.4	2.7
東海以外	35.0	3.2	6.4	8.3	7.3	14.7	0.5	8.0	3.9	6.9	1.4	0.8	1.9
全体	30.4	2.5	5.5	7.2	6.1	13.3	1.2	7.7	3.4	7.1	1.4	1.7	2.1

訪問施設	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエアなどの高層建築物	その他	なし	平均訪問施設数
東海	2.4	1.4	0.3	4.1	14.3	5.8	4.1	1.0	19.7	18.7	20.4	1.44
東海以外	0.3	0.2	0.3	2.2	9.1	3.7	0.3	0.5	9.5	20.5	26.6	1.45
全体	1.0	0.6	0.3	2.8	10.8	4.4	1.6	0.7	12.8	19.8	24.7	1.44

(複数回答)

注：平均訪問施設数の計算式：{訪れた施設の回答数及び訪れる予定の施設の回答数（「なし」の回答は除く）の合計数} / (全回答者数)

d. 旅行形態

全体では「友人・知人」(30.7%)と「ひとり」(29.8%)とが多く、「家族連れ」の割合は「家族(夫婦)」(15.4%)など合わせて32.5%となっている。

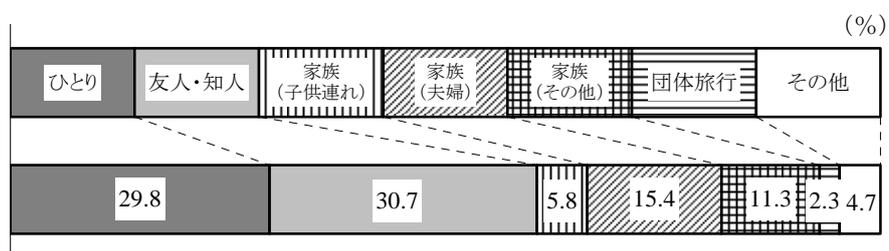


図 2-2-4 宿泊客の旅行形態

「パッケージ旅行」の割合は、全体では14.1%となっている。

居住地別にみると「その他」の地域からの宿泊客では28.1%が、「関東」(15.2%)、「北陸」(11.4%)からの宿泊客でも1割以上が、パッケージ旅行を利用している。

表 2-2-4 宿泊客のパッケージ旅行利用有無（居住地別）

(単位：%)

地 域	旅行形態	パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない	合 計
東 海		8.3	91.7	100.0
名古屋市		9.8	90.2	100.0
愛知県(名古屋市を除く)		5.6	94.4	100.0
岐阜県・三重県・静岡県		8.7	91.3	100.0
関 東		15.2	84.8	100.0
近 畿		8.5	91.5	100.0
北 陸		11.4	88.6	100.0
甲信越		0.0	100.0	100.0
その他		28.1	71.9	100.0
全 体		14.1	85.9	100.0

③旅行費用

a. 旅行予算

宿泊客の旅行予算は、「10,000～30,000 円未満」が 46.7%と最も多く、次いで「30,000～50,000 円未満」(25.8%)、「5,000～10,000 円未満」(14.7%)、「50,000 円以上」(10.6%)となっている。

居住地別にみると、「その他」の地域からの宿泊客では「30,000～50,000 円未満」の割合が最も多い。そのほかの地域では「10,000～30,000 円未満」が最も多いものの、「関東」地域では 30,000 円以上も 4 割以上みられ、遠方からの宿泊客では高額な予算となっている割合が多い。

なお、旅行予算の平均額は 28,775 円であり、昨年度 (30,551 円) と比較して 1,776 円の減額となっている。

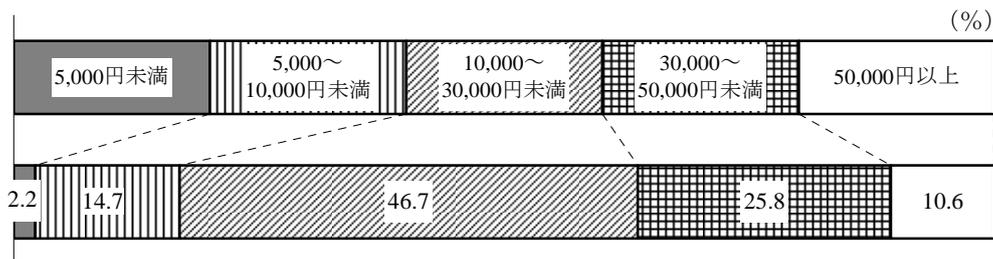


図 2-2-5 宿泊客の旅行予算

表 2-2-5 宿泊客の旅行予算 (居住地別)

(単位: %)

地域	旅行予算	5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合計	平均額 (円)
東海		4.0	28.1	54.1	10.2	3.6	100.0	19,836
名古屋市		4.0	36.0	54.0	4.0	2.0	100.0	16,700
愛知県(名古屋市を除く)		3.8	35.8	49.1	11.3	0.0	100.0	17,123
岐阜県・三重県・静岡県		4.1	23.4	55.5	11.7	5.3	100.0	21,594
関東		0.9	7.0	48.4	34.8	8.9	100.0	30,810
近畿		0.0	9.8	55.5	29.3	5.4	100.0	27,636
北陸		0.0	3.0	60.6	30.3	6.1	100.0	29,015
甲信越		0.0	9.7	64.5	22.6	3.2	100.0	25,081
その他		3.3	6.0	21.3	38.7	30.7	100.0	43,267
全体		2.2	14.7	46.7	25.8	10.6	100.0	28,775

注: 平均額の計算式: $\{(2,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000 円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000～30,000 円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000～50,000 円未満」の回答者数}) + (75,000 \text{ 円}) \times (\text{「50,000 円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

b. 名古屋市内予算

宿泊客に名古屋市内で使う金額を具体的に尋ねたところ、「10,000～20,000 円未満」が 34.5% と最も多く、次いで「20,000～30,000 円未満」(25.6%)、「30,000～50,000 円未満」(17.7%)、「5,000～10,000 円未満」(9.2%)、「50,000 円以上」(8.6%) となっており、平均額は 20,940 円である。

居住地別にみると、平均額は、「東海」、「関東」、「近畿」からの宿泊客では 20,000 円程度であり、「甲信越」からの宿泊客では約 21,000 円、「北陸」、「その他」からの宿泊客では 26,000 円前後と消費額は高額となっている。

なお、平均額は、昨年度 (22,624 円) と比較して 1,684 円の減額となっている。

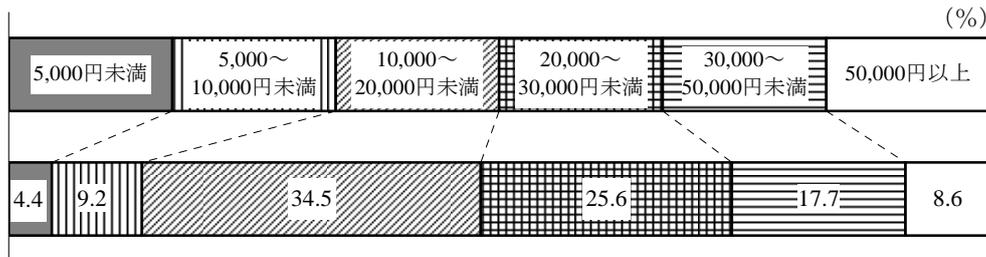


図 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算

表 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算 (居住地別)

(単位: %)

地域	旅行予算						合計	平均額 (円)
	5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～20,000円未満	20,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上		
東海	3.4	13.1	36.7	22.3	17.3	7.2	100.0	19,835
名古屋市	4.3	28.3	30.5	23.9	8.7	4.3	100.0	14,826
愛知県 (名古屋市を除く)	2.0	10.0	48.0	16.0	18.0	6.0	100.0	17,800
岐阜県・三重県・静岡県	3.5	9.2	34.8	24.1	19.9	8.5	100.0	22,191
関東	4.0	8.4	36.1	30.2	18.3	3.0	100.0	18,064
近畿	1.1	5.5	39.5	34.1	14.3	5.5	100.0	18,934
北陸	6.3	3.1	28.1	25.0	15.6	21.9	100.0	25,844
甲信越	3.6	7.1	21.4	35.7	28.6	3.6	100.0	21,357
その他	9.2	9.2	28.1	16.9	19.0	17.6	100.0	26,757
全体	4.4	9.2	34.5	25.6	17.7	8.6	100.0	20,940

c. 市内交通費

宿泊客の市内交通費は、全体では「1,000～3,000円未満」が41.3%と最も多く、次いで「1,000円未満」(23.7%)、「3,000～5,000円未満」(13.8%)、「5,000円以上」(10.0%)、「交通費はかからない」(9.7%)となっている。

居住地別にみると、「名古屋市」居住の宿泊客では「1,000円未満」の割合が最も多く、そのほかの地域では「1,000～3,000円未満」が最も多くなっており、県外からの宿泊者では平均金額は2,300～2,800円となっている。

なお、市内交通費の平均額は2,279円であり、昨年度(2,337円)と比較して58円の減額となっている。

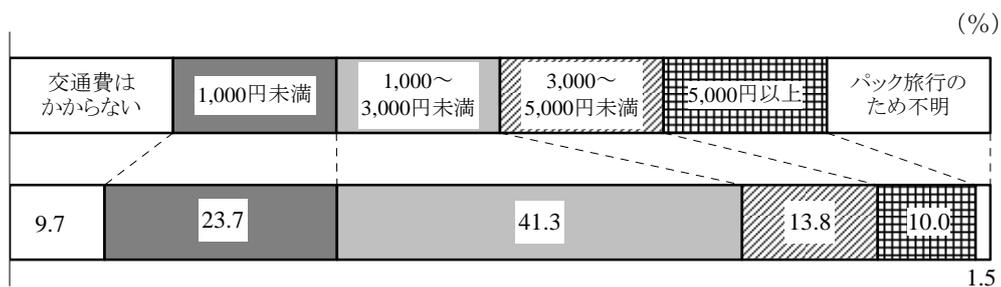


図 2-2-7 宿泊客の市内交通費

表 2-2-7 宿泊客の市内交通費（居住地別）

(単位：%)

地域	市内交通費						合計	平均額 (円)
	交通費は かからない	1,000円 未満	1,000～ 3,000円 未満	3,000～ 5,000円 未満	5,000円 以上	パック旅 行のため 不明		
東海	9.7	32.0	39.6	9.4	8.6	0.7	100.0	1,987
名古屋市	13.7	51.0	33.3	2.0	0.0	0.0	100.0	1,000
愛知県(名古屋市を除く)	7.4	35.2	40.7	11.1	3.7	1.9	100.0	1,745
岐阜県・三重県・静岡県	9.3	25.4	41.0	11.0	12.7	0.6	100.0	2,355
関東	8.2	24.6	40.2	15.1	10.5	1.4	100.0	2,350
近畿	10.9	19.5	45.6	10.9	9.8	3.3	100.0	2,253
北陸	12.1	12.1	36.4	27.3	12.1	0.0	100.0	2,788
甲信越	6.1	12.1	51.5	18.2	12.1	0.0	100.0	2,727
その他	12.0	15.3	40.0	19.4	12.0	1.3	100.0	2,584
全体	9.7	23.7	41.3	13.8	10.0	1.5	100.0	2,279

注：平均額の計算式： $\{(0 \text{円}) \times (\text{「交通費はかからない」の回答者数}) + (500 \text{円}) \times (\text{「1,000円未満」の回答者数}) + (2,000 \text{円}) \times (\text{「1,000～3,000円未満」の回答者数}) + (4,000 \text{円}) \times (\text{「3,000～5,000円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{円}) \times (\text{「5,000円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「パック旅行のため不明」の回答者数})\}$

d. 市内での土産代

市内で土産を「購入する」割合は74.9%であり、購入額は「2,000～5,000円未満」が32.9%と最も多く、以下「2,000円未満」(21.4%)、「5,000～10,000円未満」(13.8%)、「10,000円以上」(6.8%)となっている。

居住地別にみると、「購入しない」と回答した割合は、「名古屋市」(58.8%)居住の宿泊客で多く、「愛知県(名古屋市を除く)」(35.2%)、「岐阜県・三重県・静岡県」(36.7%)からの宿泊客でも比較的多く、遠方からの宿泊客の方が土産を購入している割合は多い。

購入額としては、「北陸」、「その他」からの宿泊客では「5,000円以上」が4割程度みられ、平均額は6,000円以上と高い。

なお、土産代の平均額は3,770円である。昨年度と比較して購入する割合(昨年度71.0%)は3.9ポイント増加、平均額(同3,624円)は146円の増額となっている。

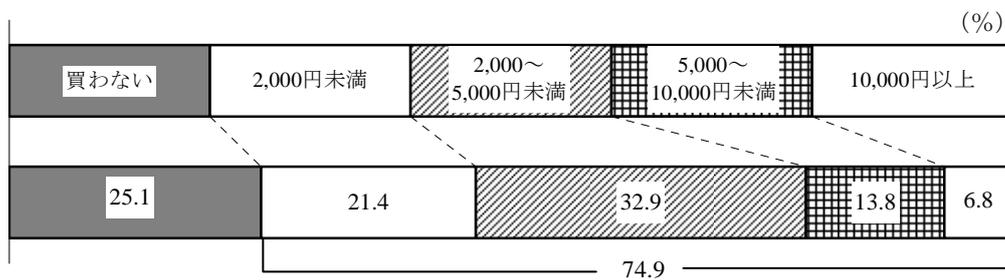


図 2-2-8 宿泊客の市内での土産代

表 2-2-8 宿泊客の市内での土産代 (居住地別)

(単位：%)

地域	土産代					合計	平均額 (円)
	買わない	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上		
東海	40.5	19.7	28.5	7.3	4.0	100.0	2,544
名古屋市	58.8	11.8	21.6	7.8	0.0	100.0	1,461
愛知県(名古屋市を除く)	35.2	25.9	31.5	3.7	3.7	100.0	2,380
岐阜県・三重県・静岡県	36.7	20.1	29.6	8.3	5.3	100.0	2,923
関東	20.7	26.7	36.4	13.4	2.8	100.0	3,097
近畿	19.2	23.4	40.4	13.8	3.2	100.0	3,324
北陸	15.1	27.3	15.2	24.2	18.2	100.0	6,258
甲信越	12.1	12.1	42.5	30.3	3.0	100.0	4,485
その他	14.2	15.5	30.4	20.3	19.6	100.0	6,659
全体	25.1	21.4	32.9	13.8	6.8	100.0	3,770

注：平均額の計算式： $\{(0 \text{円}) \times (\text{「買わない」の回答者数}) + (1,000 \text{円}) \times (\text{「2,000円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{円}) \times (\text{「2,000～5,000円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{円}) \times (\text{「5,000～10,000円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{円}) \times (\text{「10,000円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

e. 市内での食事代

市内での食事に係る支出は、全体では「2,000～5,000円未満」(33.8%)と「5,000～10,000円未満」(29.2%)が多く、以下「2,000円未満」(16.1%)、「10,000～30,000円未満」(16.0%)となっている。

居住地別にみると、「北陸」からの宿泊客では「10,000～30,000円未満」が、「甲信越」、「その他」からの宿泊客では「5,000～10,000円未満」が最も多くなっている。

なお、食事代の平均額は7,323円であり、昨年度(7,384円)と比較して61円の減額となっている。

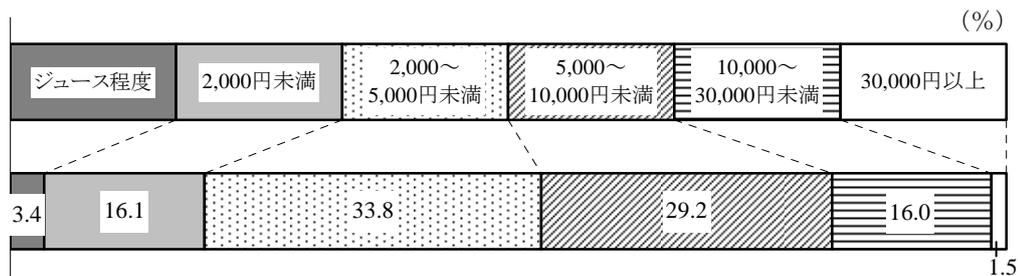


図 2-2-9 宿泊客の市内での食事代

表 2-2-9 宿泊客の市内での食事代 (居住地別)

(単位: %)

地域	市内食事代						合計	平均額 (円)
	ジュース程度	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000円以上		
東海	6.5	22.6	35.3	23.6	10.9	1.1	100.0	5,851
名古屋市	9.8	27.5	37.3	17.6	7.8	0.0	100.0	4,471
愛知県 (名古屋市を除く)	3.7	18.5	46.3	18.5	11.1	1.9	100.0	6,157
岐阜県・三重県・静岡県	6.5	22.3	31.2	27.0	11.8	1.2	100.0	6,168
関東	1.4	13.4	34.7	33.4	16.2	0.9	100.0	7,461
近畿	1.1	12.6	34.7	28.4	20.0	3.2	100.0	8,737
北陸	0.0	21.2	21.2	27.3	30.3	0.0	100.0	9,061
甲信越	0.0	12.1	24.2	36.4	27.3	0.0	100.0	9,152
その他	4.1	10.2	32.0	32.6	18.4	2.7	100.0	8,432
全体	3.4	16.1	33.8	29.2	16.0	1.5	100.0	7,323

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「ジュース程度」の回答者数}) + (1,000 \text{ 円}) \times (\text{「2,000円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{ 円}) \times (\text{「2,000～5,000円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000～30,000円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

f. 宿泊代

1泊あたりの宿泊代としては、「5,000～15,000円未満」が73.1%を占めていて、次いで「15,000～30,000円未満」（14.6%）となっている。

どの地域からの宿泊客においても「5,000～15,000円未満」が圧倒的に多い。

なお、1泊あたりの宿泊代の平均額は12,108円であり、昨年度（12,805円）と比較して697円の減額となっている。

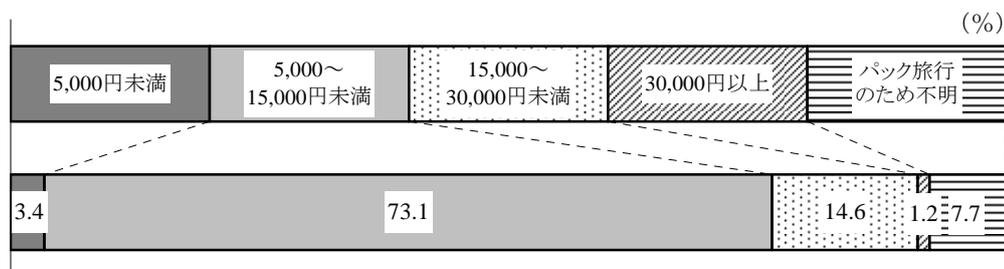


図 2-2-10 宿泊客の宿泊代

表 2-2-10 宿泊客の宿泊代（居住地別）

（単位：％）

地域	市内宿泊代					合計	平均額 (円)
	5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	パック旅行のため不明		
東海	3.5	74.9	17.7	0.8	3.1	100.0	12,261
名古屋市	4.3	78.3	15.2	0.0	2.2	100.0	11,611
愛知県（名古屋市を除く）	0.0	71.2	23.1	1.9	3.8	100.0	13,600
岐阜県・三重県・静岡県	4.3	75.2	16.8	0.6	3.1	100.0	12,019
関東	2.3	78.0	12.8	0.0	6.9	100.0	11,539
近畿	8.8	74.7	9.9	1.1	5.5	100.0	10,959
北陸	3.0	72.8	21.2	0.0	3.0	100.0	12,500
甲信越	0.0	75.8	24.2	0.0	0.0	100.0	13,030
その他	1.3	64.5	10.7	4.0	19.5	100.0	13,042
全体	3.4	73.1	14.6	1.2	7.7	100.0	12,108

注：平均額の計算式： $\{(2,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000円未満」の回答者数}) + (10,000 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～15,000円未満」の回答者数}) + (22,500 \text{ 円}) \times (\text{「15,000～30,000円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「パック旅行のため不明」の回答者数})\}$

④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

居住地が名古屋市外の宿泊客 833 人の来名回数としては、「10 回以上」の割合が 36.6%と最も多い。今回「はじめて」の割合は 13.6%であり、以下「4～9 回目」（20.0%）、「2 回目」（16.6%）、「3 回目」（13.2%）となっている。

居住地別にみると、「東海」では「10 回以上」（58.9%）が 6 割近くを占め、「はじめて」の割合は 1 割に満たないが、「東海以外」からの宿泊客では 17.9%が今回「はじめて」の来名である。

表 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

(単位：%)

地 域	回 数						合 計
	はじめて	2 回目	3 回目	4～9 回目	10 回以上		
東 海	3.2	10.4	12.2	15.3	58.9	100.0	
愛知県（名古屋市を除く）	6.1	4.1	4.1	12.2	73.5	100.0	
岐阜県・三重県・静岡県	2.3	12.1	14.5	16.2	54.9	100.0	
東海以外	17.9	19.2	13.6	21.9	27.4	100.0	
全 体	13.6	16.6	13.2	20.0	36.6	100.0	

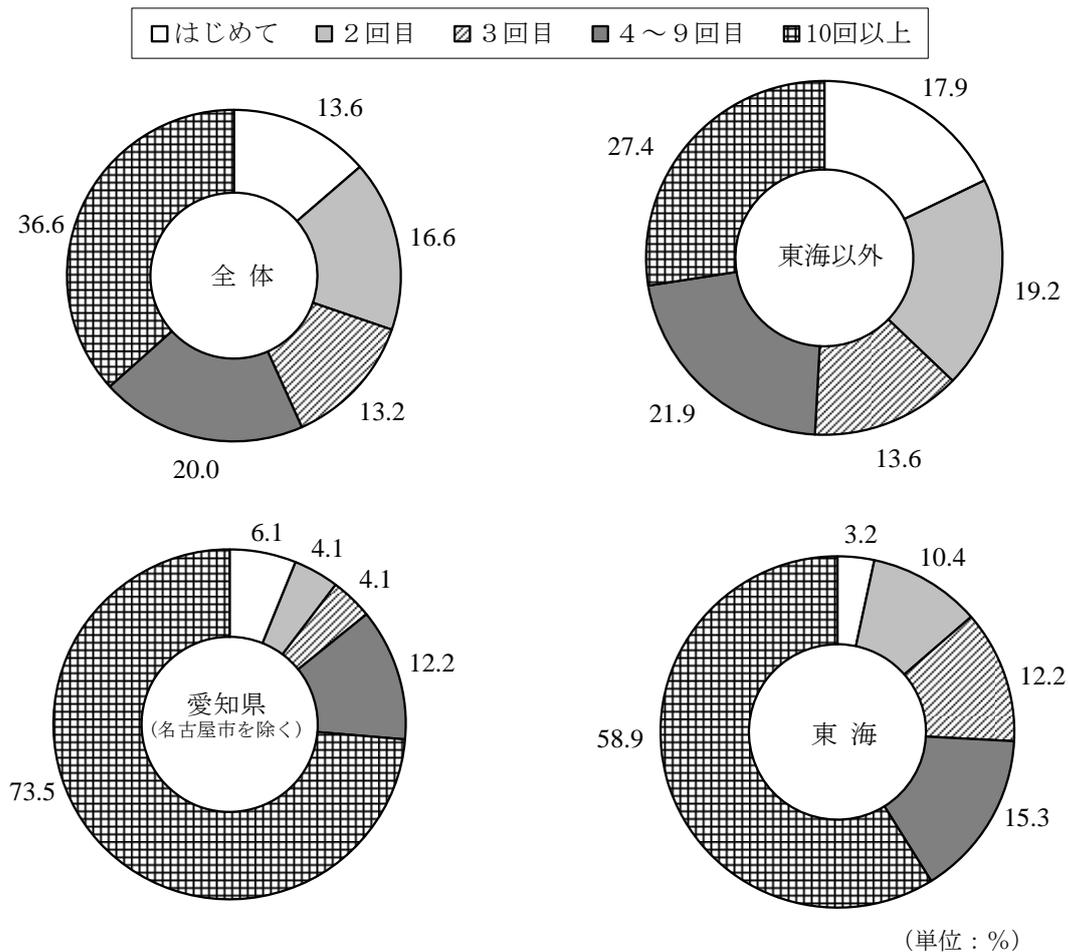


図 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

(単位：%)

⑤交通機関

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋市までの主な交通手段は、「JR」が48.4%と最も多く、次いで「自家用車」(29.6%)であり、「航空機」(8.2%)、「名鉄電車」(7.5%)、「近鉄電車」(5.7%)となっている。

居住地別にみると、「愛知県」からの宿泊客では「名鉄電車」(37.0%)、「三重県」からの宿泊客では「近鉄電車」(55.8%)が最も多い。「甲信越」(63.6%)、「北陸」(51.5%)からの宿泊客では「自家用車」が半数以上と最も多い。また、「その他」の地域からの宿泊客では「JR」と「航空機」がともに39.2%と最も多い。

旅行形態別にみると、「幼児・小学生連れ」(78.7%)をはじめ家族では「自家用車」が最も多い。

昨年度と比較すると、高速道路休日1,000円の影響により「自家用車」の割合は昨年度(19.0%)と比較して10ポイント以上増加している。

表 2-2-12 名古屋市外からの宿泊客の交通機関（居住地別・旅行形態別）

(単位：%)

地域・旅行形態		交通機関										
		JR	名鉄電車	近鉄電車	自家用車	航空機	路線バス	観光バス	市地下鉄・バス	その他	合計	
地 域	東海	38.7	14.7	13.3	30.2	0.0	0.9	1.3	1.8	0.9	101.8	
	愛知県(名古屋市を除く)	29.6	37.0	0.0	25.9	0.0	1.9	1.9	5.6	1.9	103.8	
	岐阜県	49.1	17.5	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	101.7	
	三重県	15.4	3.8	55.8	21.2	0.0	1.9	3.8	0.0	0.0	101.9	
	静岡県	56.5	1.6	1.6	38.7	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	100.0	
	関東	71.3	0.0	0.5	25.5	0.0	0.5	0.5	1.4	1.4	101.1	
	近畿	41.5	1.1	12.8	39.4	0.0	1.1	0.0	0.0	4.3	100.2	
	北陸	48.5	0.0	0.0	51.5	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	106.0	
	甲信越	27.3	0.0	0.0	63.6	0.0	3.0	0.0	0.0	6.1	100.0	
	その他	39.2	14.4	0.0	17.0	39.2	5.2	0.7	0.0	3.9	119.6	
旅 行 形 態	ひとり	66.1	7.1	7.1	10.7	9.4	0.0	0.4	1.3	1.3	103.4	
	友人・知人	45.3	7.6	8.1	27.8	6.3	4.5	0.4	1.3	1.3	102.6	
	家 族	幼児・小学生連れ	19.1	2.1	0.0	78.7	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	106.3
		夫婦	36.7	10.0	2.5	42.5	10.8	0.0	1.7	0.8	1.7	106.7
		その他	41.6	5.6	3.4	43.8	9.0	1.1	0.0	0.0	4.5	109.0
	団体旅行	38.9	5.6	11.1	16.7	5.6	0.0	5.6	0.0	16.7	100.2	
その他	63.6	12.1	3.0	15.2	9.1	9.1	0.0	0.0	6.1	118.2		
全 体		48.4	7.5	5.7	29.6	8.2	1.8	0.6	0.9	2.3	105.0	

(複数回答)

⑥名古屋以外の訪問地

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」という回答の割合は40.1%であった。その方(293人)の訪問地としては、「明治村・犬山」(30.0%)、「知多・常滑・セントレア」(28.3%)が多く、以下「伊勢・志摩」(24.9%)、「岐阜・関ヶ原」(22.2%)、「下呂・高山」(21.2%)、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」(19.8%)、「豊田・岡崎・足助」(18.1%)、「長久手・モリコロパーク」(15.7%)と続いている。

表 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の名古屋市以外の訪問地

(単位：%)

訪問地	明治村・犬山	知多・常滑・セントレア	伊勢・志摩	岐阜・関ヶ原	下呂・高山	長島温泉・湯の山・鈴鹿	豊田・岡崎・足助	長久手・モリコロパーク	豊橋・伊良湖	蒲郡・西浦・三谷	多治見・恵那・中津川	豊川・鳳来寺	瀬戸・小原	その他
	30.0	28.3	24.9	22.2	21.2	19.8	18.1	15.7	11.9	11.3	9.6	7.8	7.2	7.5

(複数回答)

⑦旅行日程

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、旅行日程は、「2日」である割合が73.0%と最も多く、次いで「3日」が18.3%となっている。

居住地別にみると、「東海」、「近畿」、「北陸」からの宿泊客では「2日」の割合は8割以上を占めている。一方、「3日以上」の割合は、「その他」(49.3%)からの宿泊客では半数と多く、「甲信越」(29.0%)、「関東」(28.3%)からの宿泊客でも3割近くみられる。

表 2-2-14 名古屋市外からの宿泊客の旅行日程

(単位：%)

地域	日程				合計
	2日	3日	4日	5日以上	
東海	86.0	9.8	2.8	1.4	100.0
関東	71.7	23.0	3.5	1.8	100.0
近畿	82.2	9.4	4.2	4.2	100.0
北陸	80.5	13.9	2.8	2.8	100.0
甲信越	71.0	25.8	3.2	0.0	100.0
その他	50.7	26.3	9.2	13.8	100.0
全体	73.0	18.3	4.4	4.3	100.0

⑧市内での宿泊日数

居住地が名古屋市の外からの宿泊客の名古屋市内での宿泊日数は、「1泊」が76.5%と多く、「2泊」が18.2%となっている。

居住地別にみると、「近畿」からの宿泊客では名古屋市内で「1泊」の割合が83.3%と高い。一方、名古屋市内で「2泊以上」する割合は、「その他」からの宿泊客では36.0%、「甲信越」では29.0%となっている。

表 2-2-15 名古屋市の外からの宿泊客の市内での宿泊日数

(単位：%)

地域	市内宿泊数	1泊	2泊	3泊	4泊以上	合計
東海		81.8	12.6	4.7	0.9	100.0
関東		77.4	19.5	2.7	0.4	100.0
近畿		83.3	11.5	3.1	2.1	100.0
北陸		80.5	11.1	5.6	2.8	100.0
甲信越		71.0	29.0	0.0	0.0	100.0
その他		64.0	26.5	4.1	5.4	100.0
全体		76.5	18.2	3.5	1.8	100.0

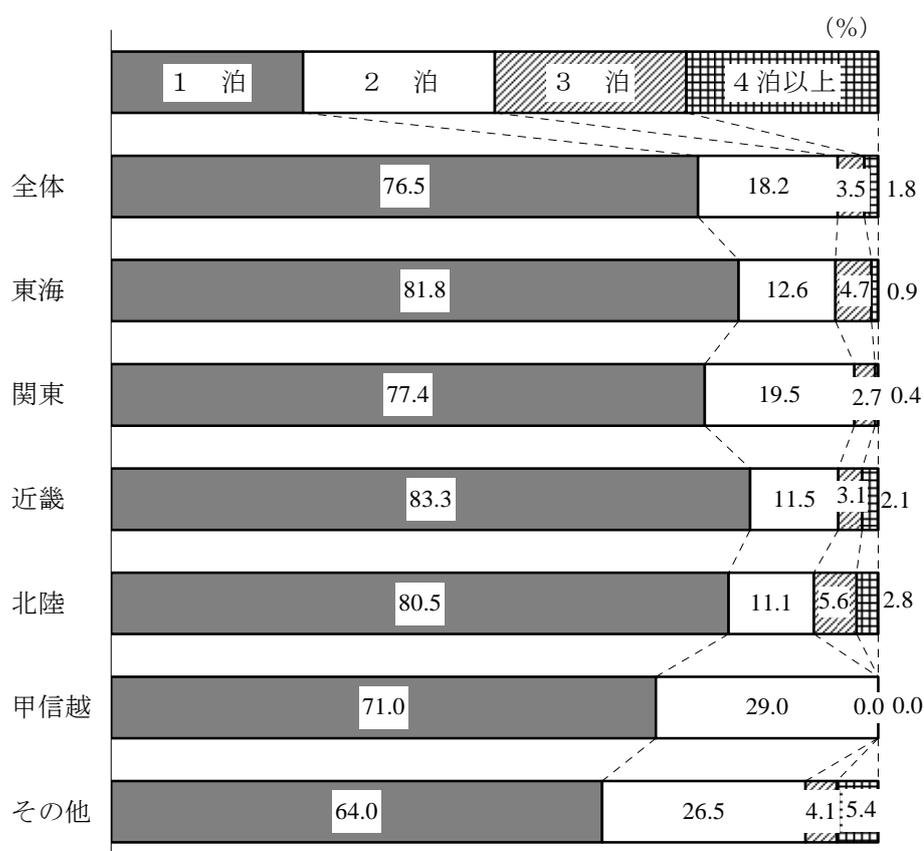


図 2-2-13 名古屋市の外からの宿泊客の市内での宿泊日数

⑨高速道路の利用

a. ETC・高速道路利用の有無

秋期調査で主な交通手段として自家用車を利用した方（123名）のうち、「高速道路を利用した」割合は90.6%と9割を超え、うち「ETCで利用した」割合が85.5%を占めている。

居住地別にみると、愛知県外からの宿泊客では大半が「高速道路を利用」しており、特に「東海以外」からの宿泊客では9割以上が「ETCで利用」している。

性別にみると、女性より男性で「高速道路を利用」や「ETCで利用した」割合が高くなっている。

表 2-2-16 自動車利用の宿泊客のETC・高速道路利用の有無（地域・性別）

（単位：％）

地域・性別		ETC・高速道路利用			合計
		ETCで利用した	ETCではないが利用	利用していない	
地域	東海	72.5	5.0	22.5	100.0
	愛知県内	50.0	0.0	50.0	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	82.2	7.1	10.7	100.0
	東海以外	92.2	5.2	2.6	100.0
性別	男性	90.3	2.8	6.9	100.0
	女性	73.7	10.5	15.8	100.0
全 体		85.5	5.1	9.4	100.0

b. 利用した高速道路

高速道路を利用した方（自家用車利用者の90.6%）が利用した高速道路は、全体では「東名高速道路」（49.5%）が最も多く、次いで「名古屋高速道路」（41.8%）、「名神高速道路」（36.3%）、「東名阪自動車道」（25.3%）となっている。

居住地別にみると、「北陸」、「近畿」、「その他」、「岐阜県」からの宿泊客では「名神高速道路」を、「静岡県」、「関東」、「北陸」、「甲信越」からの宿泊客では「東名高速道路」を、「甲信越」からの宿泊客では「中央自動車道」を、「岐阜県」、「北陸」からの宿泊客では「東海北陸自動車道」を、「三重県」からの宿泊客では「東名阪自動車道」を、また、「甲信越」、「愛知県内」、「岐阜県」、「その他」からの宿泊客では「名古屋高速道路」を利用する割合もそれぞれ半数以上と多い。

表 2-2-17 高速道路利用宿泊客の利用した道路（地域別）

（単位：%）

地域		利用高速道路	名神高速道路	東名高速道路	中央自動車道	東海北陸自動車道	伊勢湾岸自動車道	東名阪自動車道	名古屋高速道路	知多半島道路	合計
地域	東海		11.1	44.4	0.0	14.8	7.4	25.9	40.7	3.7	148.0
		愛知県内	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	125.0
		岐阜県	50.0	16.7	0.0	50.0	0.0	16.7	66.7	0.0	200.1
		三重県	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	71.4	14.3	0.0	128.6
		静岡県	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	10.0	30.0	0.0	140.0
		関東	22.7	86.4	9.1	9.1	18.2	27.3	45.5	9.1	227.4
		近畿	69.2	30.8	0.0	7.7	7.7	38.5	7.7	0.0	161.6
		北陸	100.0	50.0	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	233.4
		甲信越	20.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	250.0
		その他	61.5	15.4	7.7	0.0	0.0	38.5	53.8	0.0	176.9
全体			36.3	49.5	14.3	11.0	8.8	25.3	41.8	3.3	190.3

（複数回答）

c. 名古屋エリアにおけるETC料金割引社会実験の認知

秋期調査で主な交通手段として自家用車を利用した方では、名古屋高速道路や知多半島道路のETC料金割引社会実験（休日3割引）を「知っていた」割合は40.0%となっている。

居住地別にみると、「知っていた」とする割合は、「岐阜県・三重県・静岡県」など「東海」（64.3%）からの宿泊客では6割以上を占めるが、「東海以外」（26.9%）からの入込客では3割に達していない。

性別にみると、認知度は男性より女性で高くなっている。

年齢別にみると、認知度は40歳代（52.4%）を中心に高くなっている。一方、「知らなかった」と回答した割合は、60歳以上では78.9%と8割近くを占めている。

表 2-2-18 自動車利用宿泊客の名古屋エリアでのETC料金割引社会実験の認知（地域・性別・年齢別）

（単位：%）

地域・性別・年齢		ETC料金割引認知		
		知っていた	知らなかった	合計
地域	東海	64.3	35.7	100.0
	愛知県内	46.7	53.3	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	74.1	25.9	100.0
	東海以外	26.9	73.1	100.0
性別	男性	36.6	63.4	100.0
	女性	45.2	54.8	100.0
年齢	10～29歳	39.3	60.7	100.0
	30～39歳	44.1	55.9	100.0
	40～49歳	52.4	47.6	100.0
	50～59歳	41.2	58.8	100.0
	60歳以上	21.1	78.9	100.0
全 体		40.0	60.0	100.0

d. 割引による行動の変化

秋期調査で主な交通手段として自家用車を利用した方で、E T C料金割引により行動に変化があると答えた方の割合は60.2%であり、その行動の変化としては「高速道路を積極的に利用する」が35.6%と多く、「お出かけの回数が増える」が19.5%、「遠方まで出かけられるようになる」が18.6%となっている。

居住地別にみると、「岐阜県・三重県・静岡県」からの宿泊客では「お出かけの回数が増える」、「遠方まで出かけられるようになる」などの割合が相対的に多く、行動に変化があるとする割合が高い。

行動の変化としては総じて「高速道路を積極的に利用する」が最も高い。

性別にみると、女性では「お出かけの回数が増える」、男性では「遠方まで出かけられるようになる」が相対的に多い。また、「特に変化がない」の割合は男性より女性で高い。

年齢別にみると、40歳代では「特に変化がない」の割合が過半数を占める。また、20歳代以下では「お出かけの回数が増える」の割合も比較的高い。

表 2-2-19 自動車利用宿泊客のE T C料金割引による行動の変化（地域・性別・年齢別）

（単位：％）

地域・性別・年齢		行動の変化						
		お出かけの回数が増える	高速道路を積極的に利用する	外出先で食事や土産の支出が増える	遠方まで出かけられるようになる	特に変化はない	その他	合計
地域	東海	23.8	33.3	2.4	26.2	38.1	2.4	126.2
	愛知県内	6.7	40.0	0.0	13.3	46.7	0.0	106.7
	岐阜県・三重県・静岡県	33.3	29.6	3.7	33.3	33.3	3.7	136.9
	東海以外	17.1	36.8	5.3	14.5	40.8	2.6	117.1
性別	男性	17.1	37.1	4.3	21.4	34.3	2.9	117.1
	女性	26.2	33.3	4.8	14.3	50.0	0.0	128.6
年齢	10～29歳	42.9	50.0	7.1	28.6	21.4	0.0	150.0
	30～39歳	21.2	33.3	3.0	24.2	39.4	3.0	124.1
	40～49歳	4.8	33.3	4.8	14.3	52.4	0.0	109.6
	50～59歳	17.6	23.5	0.0	11.8	47.1	0.0	100.0
	60歳以上	0.0	27.8	5.6	5.6	50.0	11.1	100.1
全体		19.5	35.6	4.2	18.6	39.8	2.5	120.2

（複数回答）

⑩名古屋の観光の評価

a. 名古屋の印象・旅行の満足度

春期調査で名古屋市外からの宿泊客（402名）の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」が46.9%と半数近くを占め、「大変満足」（14.2%）を合わせた61.1%が満足と評価している。「普通」が36.2%であり、「やや不満」（2.7%）が僅かで、「不満」は皆無である。

居住地別にみると、満足と評価する割合は「近畿」（74.0%）、「その他」（71.6%）からの宿泊客で高い。一方、「静岡県」（42.3%）、「関東」（51.5%）からの宿泊客では満足の割合が相対的に低く、「普通」の割合が多い。

性別にみると、男性より女性で満足度は高い。

年齢別による大きな差異はみられない。

旅行形態別にみると、満足の割合は「友人・知人」、「幼児・小学生連れの家族」では7割以上と高い。一方、「ひとり」では「普通」が過半数を占めている。

表 2-2-20 名古屋市外からの宿泊客の名古屋の印象・旅行の満足度（地域・性別・年齢・旅行形態別）

（単位：％）

印象・満足度		地域・性別・年齢・旅行形態	大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	合計	
地 域	東海		9.3	47.5	40.7	2.5	0.0	100.0	
		愛知県（名古屋市を除く）	10.7	46.4	39.3	3.6	0.0	100.0	
		岐阜県	9.4	56.2	31.3	3.1	0.0	100.0	
		三重県	6.3	53.1	37.5	3.1	0.0	100.0	
		静岡県	11.5	30.8	57.7	0.0	0.0	100.0	
		関東	10.9	40.6	44.5	4.0	0.0	100.0	
		近畿	12.0	62.0	24.0	2.0	0.0	100.0	
		北陸	25.0	33.3	41.7	0.0	0.0	100.0	
		甲信越	30.0	30.0	40.0	0.0	0.0	100.0	
	その他	25.4	46.2	25.4	3.0	0.0	100.0		
性 別	男性		14.2	40.7	41.4	3.7	0.0	100.0	
	女性		14.6	51.4	32.2	1.8	0.0	100.0	
年 齢	10～19歳		21.4	42.9	35.7	0.0	0.0	100.0	
	20～29歳		14.9	50.0	30.8	4.3	0.0	100.0	
	30～39歳		12.3	46.6	37.0	4.1	0.0	100.0	
	40～49歳		19.7	39.3	41.0	0.0	0.0	100.0	
	50～59歳		9.4	51.5	39.1	0.0	0.0	100.0	
	60～69歳		12.1	42.4	36.4	9.1	0.0	100.0	
	70歳以上		25.0	37.5	37.5	0.0	0.0	100.0	
旅 行 形 態	ひとり		9.1	35.2	54.6	1.1	0.0	100.0	
	友人・知人		13.6	56.8	27.2	2.4	0.0	100.0	
	家 族	幼児・小学生連れ		33.3	41.7	16.7	8.3	0.0	100.0
		夫婦		13.0	47.9	32.6	6.5	0.0	100.0
	その他		14.9	48.9	36.2	0.0	0.0	100.0	
	団体旅行		27.3	18.2	45.4	9.1	0.0	100.0	
	その他		11.1	55.6	33.3	0.0	0.0	100.0	
全 体			14.2	46.9	36.2	2.7	0.0	100.0	

b. 満足した名古屋の観光資源

春期調査の名古屋市外からの宿泊客が満足した名古屋の観光資源としては、全体では「グルメ・なごやめし」が31.6%で最も高く、「歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）」が25.4%、「都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）」が21.4%となっており、「特になし」は32.3%である。観光施設を訪れていない割合は24.7%（P30参照）であり、訪れた方の大半は何らかの観光資源に満足しているといえる。

「愛知県」、「関東」からの宿泊客や10歳代、50歳代以上、夫婦では「歴史的な施設」が、「岐阜県」、「三重県」からの宿泊客では「ショッピングや街歩き」が最も高く、そのほかの殆どの階層では「グルメ・なごやめし」が最も高く、特に「近畿」からの宿泊客やその他の家族連れなどでは5割前後となっている。

満足度別にみると、満足度が高いほど多くの観光資源をあげている。

表 2-2-21 宿泊客の満足した名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

（単位：％）

地域・性別・年齢・旅行形態・満足度		満足した観光資源	歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	コンサートや観劇鑑賞	観戦スポーツ	その他	特になし	合計
地域	東海	17.5	3.2	10.3	23.8	23.0	4.8	11.9	1.6	4.8	32.5	133.4	
	愛知県	30.3	3.0	9.1	27.3	27.3	3.0	15.2	3.0	9.1	33.3	160.6	
	岐阜県	12.1	3.0	6.1	27.3	24.2	3.0	12.1	0.0	0.0	30.3	118.1	
	三重県	15.2	0.0	12.1	21.2	12.1	9.1	6.1	3.0	9.1	36.4	124.3	
	静岡県	11.1	7.4	14.8	18.5	29.6	3.7	14.8	0.0	0.0	29.6	129.5	
	関東	29.6	1.7	6.1	13.9	27.0	0.9	3.5	0.0	2.6	41.7	127.0	
	近畿	23.1	11.5	9.6	17.3	48.1	1.9	3.8	5.8	1.9	26.9	149.9	
	北陸	18.8	0.0	18.8	25.0	25.0	0.0	0.0	6.3	0.0	37.5	131.4	
性別	男性	23.5	7.3	7.3	15.1	25.1	2.8	3.9	2.2	1.7	39.7	128.6	
	女性	25.9	4.2	11.6	27.0	40.7	1.6	8.5	1.6	3.2	23.8	148.1	
年齢	10～19歳	33.3	0.0	6.7	13.3	13.3	0.0	13.3	6.7	0.0	40.0	126.6	
	20～29歳	20.0	4.2	8.4	25.3	42.1	5.3	5.3	2.1	2.1	23.2	138.0	
	30～39歳	26.3	3.9	18.4	26.3	35.5	0.0	10.5	1.3	3.9	23.7	149.8	
	40～49歳	22.1	7.8	10.4	14.3	37.7	0.0	5.2	3.9	3.9	32.5	137.8	
	50～59歳	32.4	11.3	7.0	22.5	29.6	4.2	2.8	1.4	1.4	36.6	149.2	
	60～69歳	26.3	2.6	0.0	15.8	7.9	2.6	7.9	0.0	0.0	52.6	115.7	
	70歳以上	30.0	0.0	0.0	20.0	30.0	0.0	10.0	0.0	10.0	30.0	130.0	
旅行形態	ひとり	15.8	5.9	4.0	11.9	17.8	2.0	6.9	1.0	1.0	51.5	117.8	
	友人・知人	26.3	3.8	11.3	21.1	38.3	4.5	9.8	0.0	3.0	24.1	142.2	
	家族	子ども連れ	24.0	8.0	36.0	28.0	44.0	0.0	4.0	4.0	4.0	12.0	164.0
		夫婦	34.0	7.5	1.9	22.6	22.6	1.9	3.8	3.8	1.9	32.1	132.1
		その他	36.0	10.0	14.0	40.0	54.0	0.0	4.0	6.0	6.0	16.0	186.0
	その他	9.1	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	54.5	100.0	
満足度	大変満足	36.5	5.8	19.2	36.5	53.8	5.8	9.6	11.5	1.9	7.7	188.3	
	ほぼ満足	33.3	8.8	11.7	25.1	36.3	2.9	9.4	1.8	3.5	17.5	150.3	
	普通	18.2	3.0	4.5	17.4	24.2	1.5	3.8	0.0	2.3	46.2	121.1	
	やや不満	20.0	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0	30.0	110.0	
全体	25.4	5.7	9.2	21.4	31.6	2.7	6.5	2.2	3.0	32.3	140.0		

（複数回答）

c. 不満を感じた名古屋の観光資源

春期調査の名古屋市外からの宿泊客が不満を感じた名古屋の観光資源については、「特になし」が81.8%と8割以上を占める。個別の観光資源としては「グルメ・なごやめし」の割合が一番高いものの4.0%にすぎない。

各属性別にみても、北陸からの宿泊客で「グルメ・なごやめし」(18.8%)が2割みられるほかは1割以下である。

満足度別にみると、普通以上の評価では1割に達するものはみられず、やや不満とした方でも意見が集中した観光資源はみられない。

表 2-2-22 宿泊客の不満を感じた名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

(単位：%)

地域・性別・年齢・旅行形態・満足度		不満を感じた観光資源	施設	歴史的な	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	グや街歩き	ショッピング	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	や観劇鑑賞	コンサート	観戦	スポーツ	その他	特になし	合計	
地域	東海	1.6	4.0	0.8	4.0	3.2	5.6	1.6	1.6	2.4	81.0	105.8						
	愛知県	0.0	6.1	3.0	0.0	3.0	6.1	3.0	3.0	3.0	78.8	106.0						
	岐阜県	3.0	3.0	0.0	6.1	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0	84.8	102.9						
	三重県	3.0	3.0	0.0	6.1	6.1	6.1	3.0	0.0	6.1	75.8	109.2						
	静岡県	0.0	3.7	0.0	3.7	3.7	7.4	0.0	0.0	0.0	85.2	103.7						
	関東	4.3	1.7	0.0	1.7	2.6	0.9	0.9	0.0	4.3	85.2	101.6						
	近畿	1.9	1.9	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8	88.6	100.0						
	北陸	0.0	0.0	0.0	6.3	18.8	0.0	0.0	0.0	12.5	68.8	106.4						
	甲信越	7.1	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	114.1						
その他	1.4	2.8	2.8	5.6	4.2	0.0	0.0	0.0	11.1	75.0	102.9							
性別	男性	1.1	3.9	2.2	4.5	5.6	1.7	0.6	0.6	1.7	81.6	103.5						
	女性	3.7	0.5	0.0	1.6	2.6	1.1	0.5	0.0	7.9	84.1	102.0						
年齢	10～19歳	0.0	13.3	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	73.3	113.4						
	20～29歳	3.2	3.2	0.0	4.2	5.3	4.2	1.1	0.0	10.5	71.6	103.3						
	30～39歳	3.9	1.3	1.3	1.3	3.9	1.3	1.3	0.0	2.6	84.2	101.1						
	40～49歳	2.6	0.0	1.3	6.5	2.6	1.3	1.3	0.0	2.6	85.7	103.9						
	50～59歳	1.4	5.6	1.4	2.8	4.2	1.4	0.0	1.4	4.2	83.1	105.5						
	60～69歳	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	2.6	92.1	100.0						
	70歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0	100.0						
旅行形態	ひとり	1.0	3.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	89.1	103.1						
	友人・知人	2.3	3.8	0.0	2.3	4.5	3.8	1.5	0.0	5.3	79.7	103.2						
	家族	子ども連れ	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	88.0	100.0					
		夫婦	1.9	3.8	0.0	3.8	7.5	0.0	0.0	0.0	3.8	83.0	103.8					
		その他	8.0	0.0	2.0	6.0	8.0	0.0	0.0	0.0	10.0	74.0	108.0					
	団体旅行	0.0	0.0	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	54.5	100.0						
その他	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	83.4	100.0							
満足度	大変満足	0.0	3.8	1.9	3.8	1.9	1.9	1.9	3.8	15.4	71.2	105.6						
	ほぼ満足	2.9	2.9	0.0	3.5	2.9	2.9	1.2	0.0	4.7	81.9	102.9						
	普通	2.3	1.5	1.5	1.5	5.3	2.3	0.0	0.0	2.3	86.4	103.1						
	やや不満	20.0	10.0	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	110.0						
全体	2.5	2.5	1.0	3.2	4.0	2.2	0.7	0.5	5.0	81.8	103.4							

(複数回答)

d. 次回訪れてみたい名古屋の観光資源

春期調査の名古屋市外居住者が次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」とした割合は58.2%であり、「歴史的な施設」の割合が20.6%と最も多い。次いで「ショッピングや街歩き」(15.2%)、「産業観光・ものづくり施設」(13.9%)、「レジャー施設」(13.7%)と観光施設が上位を占め、「グルメ・なごやめし」は11.4%となっている。

北陸からの宿泊者と幼児や小学生連れの家族では、次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」の割合が9割前後と特に高い。

全般に満足度が高いほど割合は高く、今回の訪問での満足感が次回の訪問意向につながるといえる。

表 2-2-23 宿泊客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

(単位：%) (単位：%)

訪れてみたい観光資源		歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	観劇鑑賞	観戦	スポーツ	その他	特になし	合計
地域	東海	22.2	9.5	11.9	14.3	8.7	6.3	12.7	7.9	2.4	42.9	138.8	
	愛知県	12.1	18.2	12.1	12.1	9.1	6.1	12.1	6.1	6.1	45.5	139.5	
	岐阜県	18.2	3.0	12.1	12.1	6.1	6.1	9.1	9.1	3.0	39.4	118.2	
	三重県	27.3	15.2	18.2	15.2	6.1	6.1	21.2	9.1	0.0	45.5	163.9	
	静岡県	33.3	0.0	3.7	18.5	14.8	7.4	7.4	7.4	0.0	40.7	133.2	
	関東	15.7	14.8	13.0	13.9	9.6	7.8	6.1	6.1	1.7	50.4	139.1	
	近畿	28.8	11.5	13.5	15.4	21.2	5.8	5.8	3.8	0.0	42.3	148.1	
	北陸	25.0	25.0	25.0	31.3	18.8	6.3	6.3	25.0	0.0	12.5	175.2	
	甲信越	14.3	7.1	28.6	7.1	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	42.9	128.5	
	その他	22.2	19.4	13.9	18.1	11.1	15.3	4.2	15.3	0.0	31.9	151.4	
性別	男性	19.0	10.6	10.6	11.7	9.5	8.9	7.3	13.4	0.6	45.3	136.9	
	女性	21.2	16.9	16.9	19.0	13.8	9.0	7.4	4.8	1.1	38.1	148.2	
年齢	10～19歳	20.0	0.0	0.0	26.7	6.7	6.7	13.3	13.3	6.7	40.0	133.4	
	20～29歳	24.2	10.5	13.7	15.8	14.7	8.4	8.4	4.2	0.0	34.7	134.6	
	30～39歳	18.4	22.4	15.8	15.8	7.9	14.5	7.9	9.2	0.0	34.2	146.1	
	40～49歳	19.5	10.4	16.9	13.0	13.0	9.1	2.6	10.4	1.3	48.1	144.3	
	50～59歳	23.9	12.7	12.7	16.9	15.5	5.6	12.7	9.9	4.2	40.8	154.9	
	60～69歳	18.4	15.8	7.9	13.2	5.3	5.3	5.3	13.2	0.0	52.6	137.0	
	70歳以上	20.0	30.0	30.0	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	50.0	180.0	
旅行形態	ひとり	19.8	9.9	8.9	10.9	7.9	2.0	8.9	7.9	3.0	55.4	134.6	
	友人・知人	15.0	9.8	13.5	16.5	9.0	9.0	6.0	6.0	0.8	41.4	127.0	
	家族	子ども連れ	36.0	36.0	28.0	16.0	12.0	32.0	12.0	12.0	0.0	8.0	192.0
		夫婦	18.9	13.2	18.9	20.8	13.2	5.7	3.8	11.3	0.0	39.6	145.4
		その他	34.0	26.0	14.0	18.0	24.0	16.0	14.0	14.0	2.0	24.0	186.0
	団体旅行	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	54.5	100.0	
その他	33.3	8.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	58.3	158.3		
満足度	大変満足	32.7	25.0	21.2	19.2	13.5	19.2	9.6	7.7	3.8	19.2	171.1	
	ほぼ満足	21.6	19.9	14.6	19.9	17.5	7.6	11.1	10.5	1.8	28.7	153.2	
	普通	18.9	6.1	12.9	11.4	6.8	5.3	4.5	8.3	0.0	55.3	129.5	
	やや不満	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0	10.0	0.0	50.0	120.0	
全体		20.6	13.9	13.7	15.2	11.4	8.5	7.7	8.7	1.2	41.8	142.7	

(複数回答)